

# 令和6年度第1回男女共同参画社会推進会議 会議録（要旨）

- 開催日時 令和6年7月26日（金）午後7時00分～午後8時40分
- 場 所 宮代町役場2階203会議室
- 出席者 委員 浅利克比古 武井喜代美 野口昌宏 渡辺久剛
- 事務局 野口室長 鈴木主任
- 傍聴者 0名

## 1 次第

- (1) 開会
- (2) 議題
  - ①令和6年度事業計画（案）について
  - ②男女共同参画情報誌・セミナーについて

## 2 会議概要

- (1) 開会
  - 出席メンバー4名。
  - 男女共同参画社会推進会議設置規程第6条第4項に基づき会議を開会しました。

### (2) 議題

#### ①令和6年度事業計画（案）について

〈事務局〉

- ・まちづくり基本条例・市民参加条例について説明
- ・資料について説明

#### ②男女共同参画情報誌・セミナーについて

(鈴木主任) — 事務局より資料についての説明 —

(浅利委員) 8月も会議をやる予定ですか。

(鈴木主任) 今日の会議の進捗状況によっては実施します。

セミナーのテーマについて、ご提案はありますか。

(浅利委員) 昨年度の会議ではどのような案がでましたか。

(鈴木主任) 昨年会議を実施した時期に、有名人の自殺が相次ぎました。そのようなこともあり「いのちの大切さ」というテーマで行う案がでたと思います。渡辺さんが提案してくれましたよね。

(渡辺委員) 「いのちの電話」などのポスターが駅に貼られていると思いますが、講演なども行っている団体ですのでいかがかなと思いました。なかなか減らない現状がありますよね。

今日考えてきたのは違うテーマで、夏場や冬場など外に出にくくなると、フレイルに役立つものや、実際に身体を動かすこと、簡単に取り組めるものや

意識を持たせられるものがよいかと思います。昨年も今年も暑くて外に出られないので、そのようなものはいかがかなと思います。

(野口委員) 私はメンバーに入って今回のセミナーで2回目の経験になりますが、昨年行ったセミナーは体験型になっていてよかったと思います。渡辺さんからもありましたが、聞くだけではなく体を動かすことや体験を入れた方が盛り上がり、次に繋げられそうな気がします。令和4年度のアサーション講座は、相手の心を分かった上で話すことを学び、とてもよかったのですが、にこやかに笑いながら受講できたのが令和5年度のセミナーだったので、体験型で笑いがあった方がよいのではないかと思います。

(浅利委員) 参加率を考えると、子どもが受けられるセミナーはいかがでしょうか。子どもが参加するものは親も参加してくれると思います。また、アイデアになるか分かりませんが、私は100歳体操に参加してまして、家事をしながら運動をするというのがパンフレットにあたりします。そのような運動も取り入れたら面白いのかなと思います。

(鈴木主任) 昨年は、多様な働き方実践企業のPRとして、情報誌に掲載するだけでなく発表の場を作ったらよいのではないかなという案が出ました。また、昨年度のセミナー後に、こんなのをセミナーでやってみてはいかがかと提案して下さった方がいますので、1つの案として紹介させていただきます。「主婦の学校」という資料をご覧ください。ジェンダーギャップ指数という言葉をご存知でしょうか。「経済」「教育」「健康」「政治」の4分野で男女の格差を数値化したもので「1が完全に男女平等な状態」「0が完全に男女不平等な状態」を表していて、日本は118位で低い位置にいます。この主婦の学校という映画は、ジェンダーギャップ指数1位のアイスランドに実際にある学校の生徒のお話です。日本では、古くから男性が仕事、女性が家事といった固定的役割分担意識が根強くありますが、この映画に出てくる生徒は「女だから…男だから…」ではなく「生きるために必要だから家事を学ぶ」というもので、男女共学の学校に入学した生徒の物語です。他の国にも「暮らしの学校」というものはあったそうですが、女性のみを対象としています。

(浅利委員) 日本にはハードルが高いのではないのでしょうか。

(鈴木主任) 日本では例えば花嫁修業という言葉があるように、女性は家事をできるようにするというものが、ジェンダー平等が進んでいるアイスランドでは、男女関係なく当たり前自分の世話は自分でするという考えのもと行っているようです。

(浅利委員) 歴史的に長い学校ですか。

(鈴木主任) 1942年からある学校のようなです。映画だけ上映するのではなく、映画にプラスしてワークショップなどを行うのがよいのかなと思います。

(武井委員) 今日来る時にテーマを考えてきたのですが、個人的には「おひとり様」という言葉に関心がありまして、人口が減っているのに世帯数が増えているということは「おひとり様」が増えているということだと思います。宮代

町の場合は学生さんがたくさんいらっしゃるのですが、それが理由の1つでもあると思いますが、おひとり様の行く先について興味があります。皆さんのお話を伺って、1人暮らしで家に閉じこもると鬱々としがちで、家事が好きな人もいれば嫌いな人もいますので、家事がいい加減になってしまうこともあるかもしれませんが、でも必要最低限のことは自分でできないといけませんよね。

主婦の学校は何分間の映画なのですか。

(鈴木主任) 78分です。

(武井委員) これを使うかは別にして「自分のことは自分でできるようになろうよ」とか「もっと表に出て孤立を避けようよ」というおひとり様でも楽しめるものがあるかもしれないかなと思います。町の中にも色々なサークル活動があって、おひとり様でも楽しめるものがたくさんあると思います。体操にしても料理にしても、そのようなサークル・グループを2つ3つ紹介して、町民の輪が広がっていったらよいのかなと感じました。

(浅利委員) その場合は、体験のようなものができるということですか。

(武井委員) 何を取り上げるかによってですが、おひとり様の抱える問題や、周りからこのようなことが問題になっているのではないかなど、色々な見方があると思います。先ほどのお話にもあったように、座学だと感心をもって参加しようという人は、動機付けとしてはあまり強くないのかなと思います。体操、料理、掃除にしてもちょっとした家事のヒントになるような体験がついていると、楽しく参加いただけるのではないかと思いました。

(鈴木主任) 宮代町にはたくさんの資源があると思います。

(武井委員) おひとり様にこだわる訳ではないのですが、住民のつながる機会になればいいなということであれば、仲間を増やしたいグループはあるはずです。PRしたい団体さんに声をかけて、こんな活動をしていますというそのような形を取れば、団体としてもセミナーに参加してくれるのではないのでしょうか。

(皆さん) 確かにそうですね。

(野口委員) 自殺も多いですが、孤独死も多いですね。

(鈴木主任) やはりそう考えるとちょっとしたつながりが大切なのだなと思います。

(野口委員) 宮代町内のマンションに「サロンやっています」というチラシが貼ってあって、マンション単位でやっているところもあると知りびっくりしました。サロンは集会所等を使って行うので、地域のものなのですよね。高齢者の方が子どもに紙芝居を読んでもらったりする地域もあるようです。地域で違うので集めるのが難しい気はします。

(浅利委員) あちこちでサロンをやっているのですが、自分たちもやってみようということで始めましたが、ネタが少なくなってきたのが悩みです。

テーマでいくと男女共同参画ということで、世の中の男性女性と宮代町ということだと思いますが、年代もあるわけですよね。ある程度の年代を含

めた男女の討論会みたいなものはいかがでしょうか。生活のこと、子どもなら学校のことなど、立場によって悩みや希望を討論する場があってもよいのではないかと思います。何かに絞るのも大事だと思いますので、いくつかのテーマに絞っておくなどして実施するのもよいのではないかと思います。出たくない人もいるでしょうし、話すのに勇気のいる人もいますので、その辺をどうするかというのはありますけどね。先ほど武井さんからあったように、その中にはおひとり様も入っていただけたらと思います。テーマはあまり絞りすぎてしまうと意見がでないかもしれません。

(武井委員) 確かに、テーマを絞りすぎてしまうと、興味のある人とあまりない人になってしまい、なかなか難しいのではないかと思います。全ての年代を対象といってもぼやけてしまい、なかなかテーマを探しにくくなってしまいますので、例えば子育て世代、子育てを一段落した世代、仕事をリタイアした世代など、ある程度の大きな塊でどこに焦点を当てるのか。企画する側としては、おひとり様でいうと、未婚の方、配偶者を亡くされた方、離婚をされておひとり様になられた方、これから人生の終末をひとりて迎えるみたいなイメージがあるので、そういう人を主な対象にしつつ、もう少し若い世代でも、このままいったらおひとり様になってしまうかもなど、今のうちから少し考えておこうなど、そのような人も参加できるような、ある程度ターゲットはこの世代だけど周りの人も参加しやすいようなそういうイメージです。例えば先ほどの体操にしても、高齢者が体力を落とさないようにということだと思いますが、若い世代の方でも体力に自信のない方や筋力をつけたい方にとっては十分ためになると思いますので、そのような人も参考になるのでぜひどうぞとか、親子で楽しんでやってみようかとかできればいいし、ある程度ターゲットをどの辺にしたらよいか計画していったらいいのかなと思います。

(浅利委員) 何人か関心のある人に出てきてもらって、パネルディスカッションみたいな形でやるのもよいと思います。みなさんが参加する、かつ専門の方がいるというのはいかがでしょうか。何人か参加することで活性化するのは。

(渡辺委員) なかなか講師選びも大変でしょうし、独特な考えの方もいらっしゃるのので、恐らく話が噛み合わずに拝聴するだけで終わってしまうのではないかと思いますので、なかなか難しく、着地点がわからなくなってしまうかもしれません。

(野口委員) コーディネーターがいないと難しいかもしれませんね。ジェンダーとつくと平等を目指すのは当たり前ですが、LGBT セミナーのような感じになり、年齢層によってはスルーしてしまう人がいるかもしれません。

(浅利委員) 平成元年度に行ったセミナーと同じような感じになるということですか。

(野口委員) そうとられてしまうのではないかという気はします。

(渡辺委員) 令和元年度はテーマとしてはとても良く、全国的に有名な方が来てくれま

した。思ったよりも参加者が少なかったです。

- (野口委員) 主婦の学校というと、料理でも教えてくれるのかな、時短について教えてくれるのかなと思ってしまいますよね。
- (武井委員) 宮代町の場合セミナーは年1回なので、テーマのネーミングはすごく大事だと思います。主婦の学校という文字面だけを見ると抵抗を感じますが、中身はそうでなくて「自立した人生を楽しむためのすべを学ぶ」「自立した人生を楽しむために」「おひとり様でも楽しく生きよう」など、メインのテーマを決めてこのDVDを使うのであれば、そのセミナーの1つのツールとして人生を楽しむための術を進んでいる国ではこのようにやっているのですよと紹介できればよいのではないのでしょうか。
- (野口委員) ジェンダーとついでに「1人でも自立した人生を送れるよう術を学ぶ」のようなテーマにする方がよいと思います。話は変わりますが、今度、アンケートで「年齢層」をとってみたいかがたでしょうか。
- (鈴木主任) 年齢層はセミナー申し込みの時点で把握しています。昨年度は60代の方がほとんどで、40代の方は2名の参加でした。チラシは全児童・生徒に配布したので、子育て世代のパパたちに来てもらいたかったのですが、参加が少なかったですね。
- (浅利委員) 場所のことをいうと、できれば宮代町の中心でできればよいですね。
- (鈴木主任) バスの時間帯がちょうどよい時間がなくて、早めに来て早めに帰られた方がいらっしました。
- (浅利委員) 進修館や図書館の予約を取ることはできるのですか？
- (鈴木主任) 早めに予約すれば取れるのではないかと思います。
- (浅利委員) 面白い映画もあるよとPRすれば来るのではないのでしょうか。日本工業大学で今年やりましたよね。短編映画などを入れれば参加率が上がると思います。
- (渡辺委員) DVDでも映画でも、終わった後の振り返りができる人がついていないと、なかなか難しいですね。
- (鈴木主任) はい。観て終わりではなく、振り返りができるとよいですね。
- (浅利委員) 他の企画でお笑い芸人を呼んでいるみたいですが、参加率はどのようなのでしょうか。
- (鈴木主任) お笑い芸人による消費生活講座は産業観光課が開催しています。第1回目は、結構人数が集まったと聞いていますが、第2回目はこれからのようですが年齢制限を外して募集していると思います。有名な方を呼んで参加者を集めるのも手なのですが、有名な方ですと費用の面でもなかなか難しいことがあります。みなさんのご意見をまとめますと、どんな内容であれ参加型のセミナーにしたいということは共通していると思います。
- (浅利委員) 多様な働き方実践企業の会社の方にお話しいただくのはいかがでしょうか。発表の場があってもよいと思います。皆さんの会社でもこのようにしたらよいのではなどの話ができればよいと思います。宮代町では全国に先

駆けてアピールできるものはないですか。大体同じようなことをやっている感じてでしょうかね。日本工業大学ではどのようになっているのでしょうか。男女共同参画の専門の先生がいるのではないのでしょうか。

- (野口室長) 女性の学生は昔に比べれば増えていると思います。工業系の大学なので、男女比率は男性が高くなっています。
- (浅利委員) 例えば、産官学で3人来ていただいて討論会をするというのはいかがでしょうか。
- (渡辺委員) なかなかセミナーについては硬直状態になってきたので、先に情報誌ふらふーぷの方を進めるのはいかがでしょうか。
- (鈴木主任) では、情報誌ふらふーぷに移らせていただきます。多様な働き方実践企業の紹介のコーナーですが、実は、昨年、宮代町社会福祉協議会がゴールドだったので掲載をお願いするはずでした。しかし、セミナーを引き受けてくださったので、両方になるよりは、1年ずらして情報誌は令和6年度に掲載するのはいかがかという話になっていますので、皆さんがよろしければ、今年が多様な働き方実践企業の紹介は宮代町社会福祉協議会でいきたいと思います。
- (渡辺委員) 社協を取り上げるのは賛成ですが、多様な働き方実践企業として前面に出すのではなく「我々を取り巻く身近な施設として社協があります」というのはいかがでしょうか。何をやってきているのか、なかなか分かりづらいということがあると思います。
- (鈴木主任) 働き方実践企業としての取組みではなく、社協を知ってもらうための紙面にした方がよいかもしれないですね。社協がどんなことをやっているか知らない方も多いと思います。
- (渡辺委員) 明日、うちの地域で防災のイベントをやるのですが、社協の方が来てくれます。社協で貸出しサービスがあるなど聞いたことはありますが、なかなか借りる立場にならないと分からず、社協の方がどこまでやってくださるのかという部分が分かりづらいところがありますよね。
- (野口委員) 福祉車両の貸出しなどもやっていますが、書いてあっても読まない人もいますよね。
- (浅利委員) たまに隣町の広報をもらってくるのですが、社協がベビーベッドを貸出しているのを目にしたことがあります。
- (鈴木主任) 多様な働き方実践企業のゴールド受賞として社協があがっていますが、社協の業務内容が分かりやすいような紙面を作る形で進めてよろしいでしょうか。
- 全員賛成 —
- (野口委員) 見開きを使ってもよいのではないのでしょうか。
- (鈴木主任) 紙面の配置を考えないといけません。載りきれないかもしれません。
- (浅利委員) もう一つ社協のことで思っていることは、社協の会費を集めた後、どのように使われているのか。

- (武井委員) 社協だよりの方に詳しく載っているのではないのでしょうか。男女共同参画の情報誌として取り上げるのであれば「皆さんの身近なお助け隊ご存知ですか」という形で、安心して利用できるサービスがあるということを取り上げたらいいかなと思いました。
- (野口委員) 75歳以上のひとり暮らしの人に慰問品を配るのですが、社協が出して民生委員が配っています。あまり知られていないです。
- (武井委員) そのような活動は皆さまからの会費により賄われていますなどあれば、自分もお世話になるかもしれないので、会員にならないと思いますね。
- (野口委員) 回覧板が回ってくるだけでは、なかなか加入していただけないですよ。紙面は、社協がやっていることの他に、会員になってくださいというPRをしてもよいのではないのでしょうか。色々な分野がありますからね。
- (武井委員) 「お困りごとは、お気軽にご相談ください」など、柔らかい感じで掲載できたらよいですよ。
- (野口委員) 心配ごと相談などもやられていますね。
- (鈴木主任) それでは、ふらふーぷの紙面の1つは社協で進めさせていただきます。次に、宮代輝き人についてです。宮代町で生き生きと元気に輝いている人を紹介するコーナーですが、今まではたまたま女性でしたが、女性でなければいけないということはありませんので、男性でも女性でも、輝き人として紹介したい方がいらっしゃれば教えてください。
- (野口委員) サッカーで鹿島アントラーズに入団した方が思い浮かびます。応じてくれるかが問題ですが。
- (武井委員) 人は分からないのですが、毎朝子どもたちを見守る交通指導委員さんはいかがでしょうか。
- (野口委員) 一番長くやっている人はいかがでしょうか。
- (鈴木主任) 調べてみます。
- (武井委員) 毎朝のことですから、子どもが好きとか、何かなければなかなか続けられないことですよ。
- (鈴木主任) 交通指導員さん以外にも思いつく方がいて、スクールガードやスポーツ推進委員をされている方がいらっしゃいます。
- (野口委員) そのスクールガードの方をお願いしてはいかがでしょう。難しければ、交通指導委員さんにあたってみるのはいかがでしょう。
- (渡辺委員) 紙面は入りそうですか。
- (鈴木主任) 町のお知らせは情報誌だけではなく広報紙にも年数回掲載されていますので、このスペースを宮代町輝き美人を最後のページに掲載するなど、配置を考えてみます。セミナーについては、講師を探して次回の会議に提示できるようにしたいと思います。それでは、以上をもちまして第1回男女共同参画社会推進会議を終了とさせていただきます。

■次回の会議

令和6年9月上旬の予定。今後あらためて日程調整する。